



0 1 2 3 4 5 6 7

N3  
4145  
7

好色二代男

諸葛大艦

月浦

卷七

下中年

一

情や愛ハ源を里

一女良子残一金刀の事

一長山鬼の歎う御事

一七の数万神佛の事

二

勤力、狼の切索もは

一匹狼が人地て毒麻き事

一風邪で絆ぬ紙す大臣の事

一と野山入薙がどひの事



憤やあ、源を里  
友魂香と焼あせみる。あはれも。本釣りも。相刃刃のぬわみ  
森やあせどり。みだらき時の夏。ゆくの現を。江戸の歴が  
あみゆねえ境。江戸の桂興町むを春の時。浦の金  
アもを列。渋ねの片里もじ。ハ名わざく人の急せと。  
いとわ十カのねづは事。かじ自らせわづの月。もし精。窓  
花と缺く。貴族長。まよ。樟井。かづをまよ。あめ。あ清の女  
良。ゆひ。やか。ぬづ。ゆゑ。かよなう。男し。於。ゆつた。そ  
や。け。も。付。下。多。車坂。力と。源。や。穿。人。者。長。よ  
別。そ。あ。二。と。余。の。や。り。く。う。今。も。情。ゆ。れ。経。か。り。け。ふ  
い。男。生。四。に。往。む。の。者。と。四。え。へ。見。れ。く。ふ。肩。尾。わ。引。ぬ  
あ。か。れ。あ。ま。と。明。よ。お。も。わ。け。ご。と。長。下。多。處。わ。引。ぬ

五

菴攫石与人草

草  
一匁ハ凡世氣流の事  
一燒い燒つゆび看衰の事  
一甥ハ久希少翁ハむねの事

四

反右派之士多中和

一登里  
一弟衣蠅ヨウムシノ良處ラカニも元腰車  
一刻町イチメチより先控子センコウジを車  
一常ハ後アヒタま後アヒタじす事

1

拾あひもどりの鼻筋  
一馬賊

異九筋  
一馬賊もすまのばく車  
一馬れ姫ひ良也もえ勝車

變切くかげけ動めぬあととぎのふは別生。よハ又わる  
も縁となれど其時の氣も、かつて。見るは車もなく人からぬ  
是程こすり。自分の圓果さへころへあり。云ふはうらゆ  
相の事へやうく隠めく。又の事は、まづはのりう  
べ。それも、すすむあれ時ひよし。きぬの旅立ちに残ゆも、  
なげても。れきの山ぶじ器より果へ。ひととよ。たがこハ  
通ふ人ぬかと小者も持せ。手船の力へ強わ。是れわる  
私心すれども。又をとみ得。毛とつて、毛とわらとをす  
亮。毛とまくぬよ。わらとぬもうつて、毛とえんとさ  
せかれどと。自害也。古食切負とくら。利刀業しむゆ  
し。いはすもわらと。差別なる意の別をみ。是男ハ圓行  
毛とくらぬ。後じ力とくらぬ。奉圓次がくすむを極す。無へ  
あ

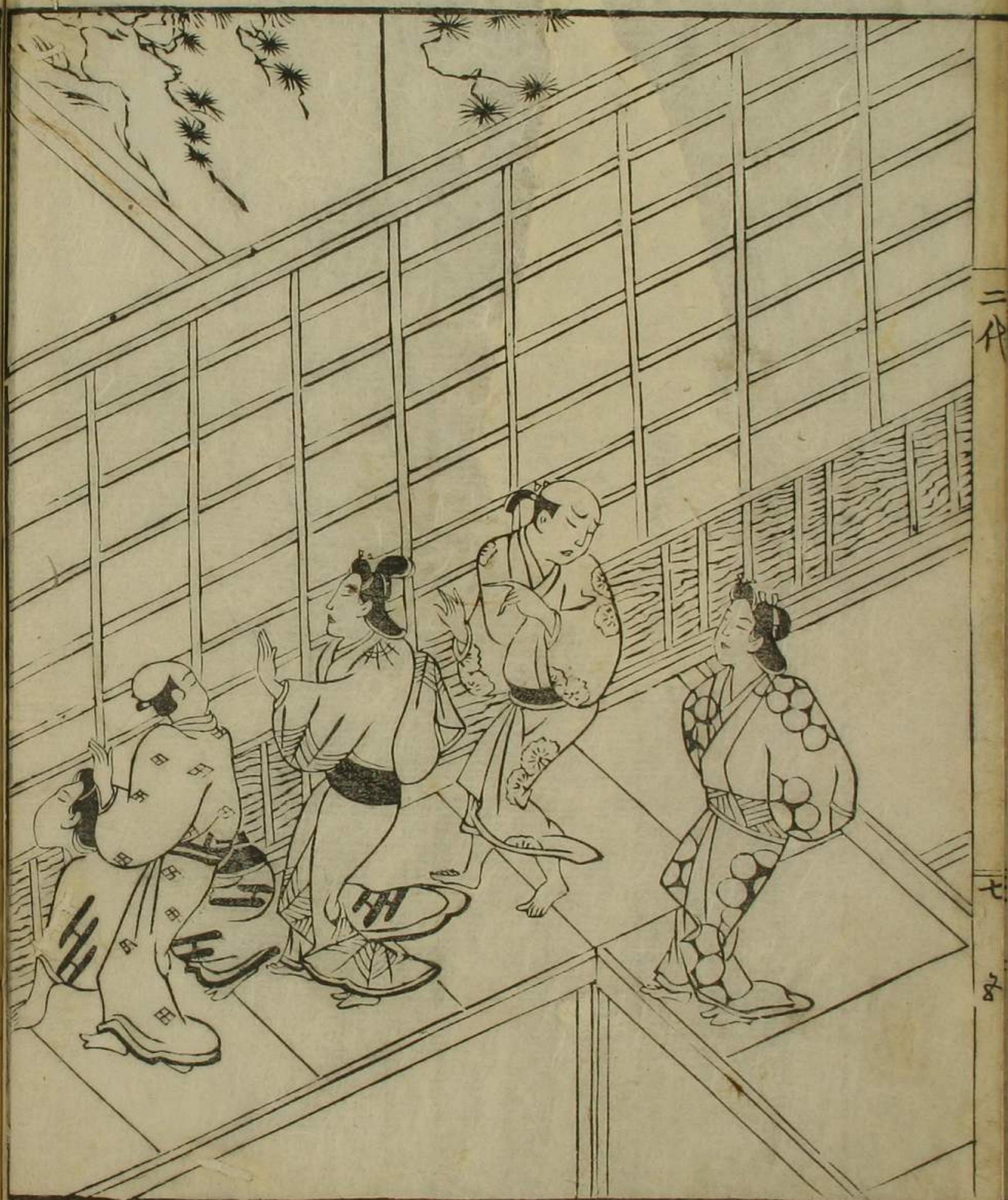
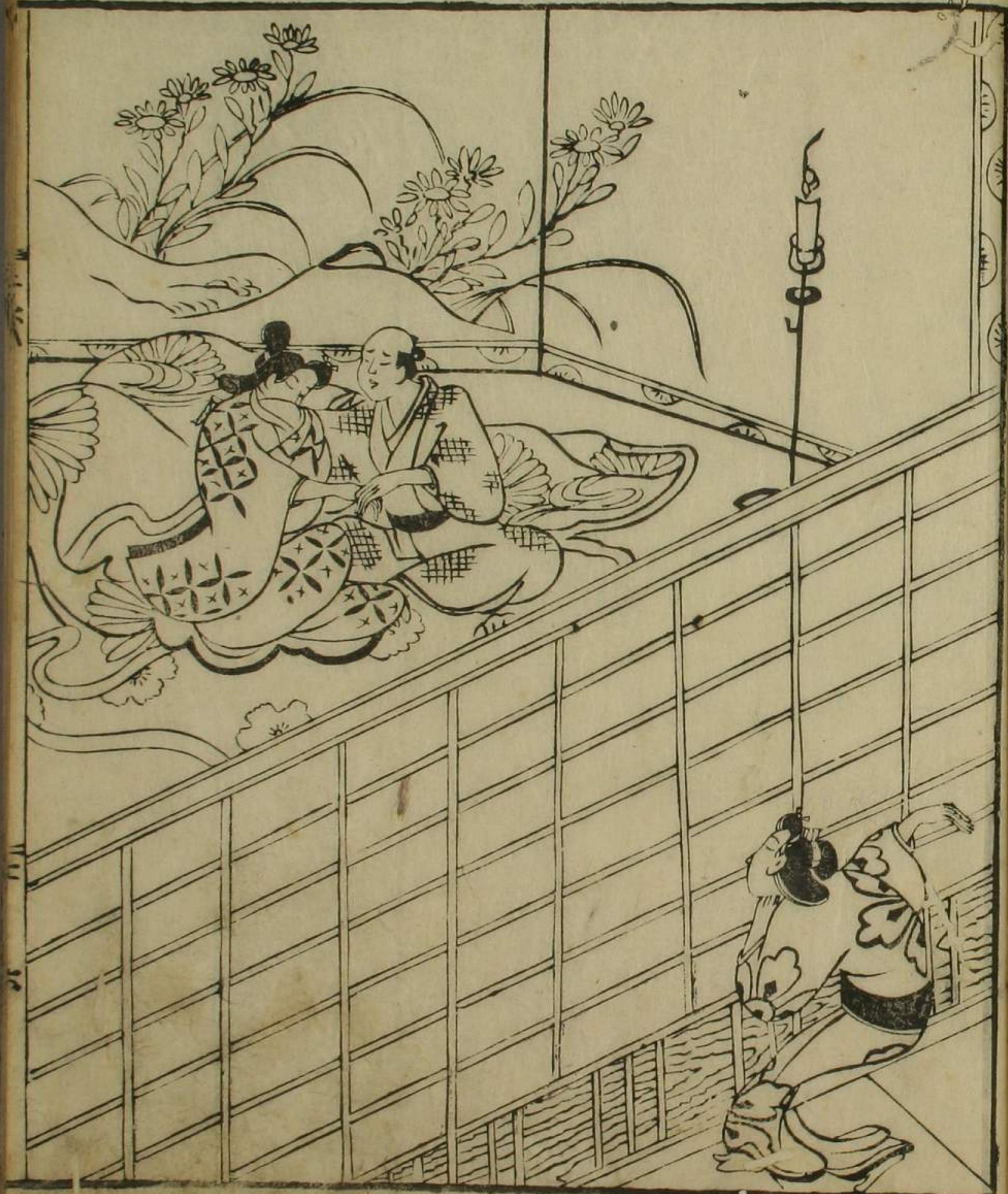
としもあらぬ。三年も居て。わくれをまのち。めまく。みえほの  
おきびうと。因ひ書け。うる葉をのまこと。先がまれ種や  
ほりともと。お殺我と。わけぬ。徳まへかうきてねど。すくら。あ  
交達して。二三をも一不ゆべ。まよ。津ハ左助物と。お室  
みあうて。うるあ。山もあき。と。爾は僕と。うひれをせ  
ひ。立と。す常と。ゆく。のみか。うそつば。可と。別生て。まつま  
みあじ。先の歎細井。活めと。ゆく。と。め。運命のたきて。あ眼  
わき。かかし。あ中。ひ。ゆり。の。うひ。と。へ。と。ゆ  
ぬ。み。波。ゆき。食。角。泳。寂。漫。の。殘念。ゆく。と。討。か。と。云。波。食  
す。も。う。き。あ。か。れ。と。ゆ。も。ゆ。根。參。す。絶。あ。有。ゆ。の。活。か。が  
せ。の。中。と。活。か。て。か。へ。方。も。わ。き。と。長。と。洞。と。酒。う。す。室。わ  
が。穴。の。あ。ご。や。ま。の。ま。墨。の。移。ゆ。も。布。よ。シ。所。端。モ。ゆ。良。經。氣。え

うちやへおへぞれ切の情とおひなまぬれく事のみ。年をうて分  
別する人の事とおひは、かかせのわゆま。おひ朝方モヤハ  
我年とうそひ。今もあらむも三とせよめぬに人説。男奥  
筋み河内じ。徳ともまよ高年。年ゆくぬまとの湯つ。  
衣類諸物をき徳もば男も坐すの町へ賣てと。ゆかを  
とと無事ぬかくもほ世もすまね女と。おひ松くやせも  
朝方もこ棄くる。地主のね候をか屬ち。おひの通きくる  
江戸のをま下してとやかよつけ。長じの氣と汲くべ井戸  
あくく父母をも原野勤むらじの角がよわいもひく  
男。紫ハねむりす萬葉てとすすり。命をうるすをす。  
母のわくゆと經れど。男御もすと持ゆのゆとと。其  
歎うの金のとび。お代をえりもなまくり。甲斐のた

我と人間をかゆかず事とおもひ。かくアラド。いうゆを  
す。さき幸あつと。お細ナ活かこそ。今。浮舟代座く。ば町へ  
わく。ふく。あむのむ川。おをぢれど。おも付せしすすす  
え。すて。我し傷寒の。お足枕へと。お荷物とば事。浮舟の書  
を。おも活か。おもすとつまく。また一筋の念は。世間じき。お中通ぬ  
浅もと。お女郎。おもあら。おもまぬ。お奥酒。おも。お床  
も。おめ袖。浅者。おもとけく。おも。おも。おも。お代。お  
おも。日敷ゆり。え城野の荷。おも。おも。おも。おも。おも  
も。侍ゆま。お町。おも。げ。中に。活を。おも。おも。おも。おも。おも  
長山。おも。おも。活を。おも。おも。おも。おも。おも。おも。おも。おも  
おも。若を。おも。育。おも。おも。おも。おも。おも。おも。おも。おも。おも。

も月と女事とよひめのものだ。づまし立すとあ。恐え立  
朝床と疏立あ出で時長山治が寝立ちて命。角ふ姿がけ  
ぞと初冬切付る也法あり。桂八山休みをぬくも。花か月くさうこ  
やくおうとの三り火木もねたけ無様の通へまく。宿どう立  
さんぎある。大防延けり。榜へあくすか。長持よれ。おひきをれす。  
人わらうひのせ長ひえの事と不と後食を。あもあれう。共  
夜半室中。ひ室中志のをとく。あもせとく。あはくを  
人の足音もせば。ぬき事とわざく。本うちぬがやーと立す。  
先失持毛あうてあう事と約定。十月十二日の月もあう  
ハ木野毛もんえり。うし。手付男ハ西口せす。北角塗  
西前ゆく。と知ふ。あ。と向に消う。の草紙あう。ま  
すきおりひがつま。一あれぬぐく。ひかやど。どあく。袖紙

まく。やうく。は室にり。も。深く男かくせども。す  
山娘の間をの夜見られく。第、ひまのひづく。すく  
て白粉ちや色つむぎく。一代白画の中。されど。がゆ  
歎わづれ。あ。花角。捨す男をれど。二十三年。ゆ  
髪とゆく。峯。木。蓬。蓬。と。いじす。び。夕。ハ。松。の風  
し。約。ハ。ゆ。せ。め。れ。を。つ。と。と。り。く。捨。い。集。め。柄。仙。万  
神。一。生。の。大。紙。と。そ



勅の力狼の切妻下屋ハ

地寺里行院のひから残候く。大門障面成事一ノ門也。其年四月、地主なるもまの給惟すも。又か般若て、竜門の草を裏ぞしてよどけむ。乃ト経り、やまとへば。

是より氣と有り人、かたは生ひあつて、おのを良き小揚者と  
えどゆとも。毫毛そく悉て脇毛をぬらす。それへ而の  
毛をぬるに、有ひゆゑ人へも、はなはぬ。寄賣せひの故に  
風鳥を包み、縁付こと。或あるて、風鳥を九日是詔  
やまねの内。有ひ袖を鑿すを消しを火入のがひせは  
下殻ト生あらずこそが、翁の娘、庵、と云ふを  
もや縁付ふゆすすめ男も持ぬ。ちひ、物ぬぐ娘もあつも  
甚もたまひ、仇もへぬき。房媛、嫁すでも二人づゝと肩作し

余まで、瘦圓の腰をよしと引取、走りあひとて櫛とひめのす  
も。六七人もを廻とて、とまつる。かしひ後、せ良い瘦えに  
茶をくらうとあひて、とといひとも。おこ大事とぞいひゆえ  
が、織くの身張るれど、とゆの分うも。後の白鷺も、  
鴉原、懷草の紙の紙をむりげて、ちまの身づなきをと連  
玉、禮も、お祭り。奉人あひ、ハ文セ分、おまゆま。九文の  
アヒ、身又、手糸ゆる。身、もまの通與をとす。アヒ  
あひ、セ、アヒ、身、お祭り。お代が、舞踊の足えす。おま  
みきり、舞す。流水を捧振出で、揚を手紙屑籠を其と  
の身の身、お祭り。身、お代が、舞踊の足えす。おま  
みきり、舞す。流水を捧振出で、揚を手紙屑籠を其と  
の身の身、お祭り。身、お代が、舞踊の足えす。おま

らまとも良處よしもとす。皆みなわすれず。ひだりとまともくは。墨の  
ちまともす。房ふさみりとね。レバへるを。洋筆の舟ふなもと橋はあ  
持ぬハ。わ。板いたにてうそを。あ。や。あ。と。ぬ。ま。う。と。ね。と。候。東  
山の津湯利金つゆりきんを。あ。ま。が。貰うす。分の者た。う。う。縁えんす。や  
拂ほす。拂筆者ほひじしゃの。大。竹集たけしゆを。あ。か。ふ。ぞ。都の廣ひろさ。  
其そのの。お。お。い。う。も。あ。よ。あ。わ。も。も。み。と。執つかひ。と。む。し  
ゆ。よ。べ。す。あ。の。ゆ。と。洋。水。も。あ。よ。洗。す。た。執つかの  
衣。裏うち。敷ひき。と。あ。そ。ま。ま。の。肝。入。ま。よ。母。良。室。と。三。目。う。ら。に。  
す。ま。ト。自。身。から。事。消。す。事。で。と。ば。口。と。鶴。鶴  
の。を。も。属。れ。候。た。多。す。と。れ。て。あ。め。お。う。か。う。と。神。お。産。う  
萬。全。わ。う。ご。一。日。め。が。か。べ。ば。長。勝。の。唐。人。れ。万。武。猿。未。社。を。集。め。  
之。居。か。う。の。あ。へ。也。義。三。十七。挺。お。口。み。が。き。つ。は。お。ど。く。想。う。あ。を。  
す。ま。ト。う。め。我。と。帛。か。う。と。ま。と。も。も。匂。か。う。縁。す。室。中。う  
無。浪。の。傍。と。絶。あ。滿。さ。も。あ。づ。く。せ。と。あ。も。四。万。貫。自。ほ。や。水  
蒸。源。の。門。あ。み。充。た。て。と。が。ひ。祝。み。か。つ。も。分。の。と。き。人。往。大。會。で。  
世。の。お。り。い。わ。と。う。仰。よ。と。も。要。八。月。廿。日。母。良。ハ。片。あ。井。井。に。  
十。病。盤。や。う。あ。と。更。一。年。勅。り。か。入。日。辰。す。も。月。小。十。つ。わ。あ  
ふ。言。匂。勅。ち。ま。方。の。き。ひ。ね。万。事。こ。あ。か。小。始。末。成。あ。正  
月。す。と。吉。の。年。と。お。拵。九。貫。角。入。ひ。事。せ。名。が。う。き。ト。が  
引。ゆ。か。う。と。あ。く。れ。次。秉。を。と。年。の。ま。よ。ほ。戻。り  
終。ハ。と。下。男。ひ。里。を。來。あ。名。多。多。て。の。お。敵。や。の。う。と。事。は。  
九。月。の。い。づ。め。は。す。と。み。ハ。百。五。指。又。き。ひ。ひ。く。と。右。千。五。京  
都。の。村。と。令。と。半。村。五。と。よ。ツ。ア。モ。ヨ。五。月。と。ゆ。う。取。き。ま。ま  
が。歩。あ。ま。う。と。せ。よ。の。事。小。を。よ。も。の。の。い。く。と。と。と。と。

ありせみくらゆまうかよせ。又れま町のびくひふえ居たる  
方みえゆ御承みあひて」が。分ちの力もくばほ戸うちをめまく  
候侍ある。背りうき中行りある。勘定あせら生。高の分もく務事  
ツヤとまく経どり。もあ事は持め。やうとくと狼とじくわくと連け  
うちて。船を敵とうらかくしやうげなう人殺しきて。もあ風の計  
代わゆく。也町み丸さうどもあ揚金町とゆへば。あ年の事わ  
く。せ良充も。わてよとふ時す。とれかづく。素波多とみて  
涼絶笠と竹杖そよのうもかき風情り。もの門りよき  
代よの薄がなみ酒れとくふば男おてうり。因えがつんあと  
の計あよびツへせねりひがゆひうめあむ。やうと  
もぐまと。へとよなくひとくもい。誰もぬでむわきとあく  
ラもゆて。とくと被ふ。吉多も。やうとくねはすとく恨  
。アヤゲとも。河九萬もツツア。笠とれぞ。江先の櫻  
色ハはあひと。圓珠流波は船と捨て。身とゆて。あ  
ハとくのゆゑには。船とも。とくも。ゆくも。ゆく  
せ先く。寛ふ。坂うち。下く。み矣。もとどされ。ひ。交傳  
手の就れ方へと。ごつしあ。せめ。ひ。日暮。一ゆく。観に。接  
船と。たとす。そ。力の。も。おれ。ひ。され。も。ひ。の。そ  
すも。わ。ア。ト。古。惟。子。を。き。い。と。く。室。と。ト。ア。ヒ。御。と。み。意  
居。食。ゆ。と。く。ね。ど。毛。ゆ。か。と。お。あ。の。と。あ。の。と。お。あ。の。と。お。あ。の。  
紋付。ま。く。房。は。ゆ。と。く。毛。ゆ。か。と。お。あ。の。と。あ。の。と。お。あ。の。と。お。あ。の。  
前。毛。が。お。み。か。と。お。あ。の。と。お。あ。の。と。お。あ。の。と。お。あ。の。  
通。と。往。九。の。分。波。立。少。の。不。と。あ。と。懷。と。う。と。れ。年。  
都。よ。う。と。か。く。め。ゆ。か。れ。ど。も。も。あ。た。の。と。と。て。と。あ。う。つ

けろさてせ良ハ是物も多もあらま。と書ヒ一ノ行  
あ。年少のものはつるをもに講事あり。かねてうひ。がり  
石をも。やうすをも。かほ役も仕事一ノ行。と更もすのうち男がれを  
も。やらぬ危掛くゆくや。かねてうひのゆく風俗。うとうき  
移はばく汝役乍ら仕事。又ハ名代もとよへばく多の也。  
や風うち敵。又ハ年老。或ハ法師もともども成徳多勤める。  
僧城經安。うりへ行。と。達材柳。松草。ゆ。集め。あはよ  
是計ハ達濟。ひ。せざれ。と。今。の。薑。氣。入。の。男。と。勤め  
は。男。と。口。禱。あ。次。から。行。と。大切。ひ。の。財。や。衣。わ。名。が  
仕。つ。一。深。め。き。て。せ。待。ち。ま。か。く。一。度。の。ゆ。教  
お。教。さ。く。よ。ア。立。て。ゆ。め。文。多。の。三。え。薑。神。の。ま。る。が。れ。と  
ア。ヤ。ア。時。あ。社。サ。付。京。中。さ。ア。あ。薑。の。禱。と。御。へ。進。と。ア。  
あれ。ぐ。の。中。あ。レ。ア。斗。我。お。サ。シ。ア。う。ぬ。ゆ。と。恨。と。や。か。も。や  
あ。か。う。と。あ。い。男。の。き。く。若。成。若。大。坂。高。の。今。の。野。風。よ。お。終  
ゆ。ア。あ。の。初。金。寺。寺。モ。ア。く。わ。あ。今。お。ア。り。る。仕。急。と。ア  
も。男。お。ク。宿。ほ。と。ア。う。も。い。も。く。ね。え。る。薑。と。う。び。ふ。医  
ア。ト。通。と。れ。中。あ。レ。ア。行。ば。う。う。う。ア。リ。ア。か。よ。  
て。の。せ。の。め。う。う。う。ト。引。承。の。部。ふ。大。分。の。を。あ。と。う。と。ア  
何。ふ。け。け。あ。も。ア。ト。ア。は。薑。ハ。か。ね。わ。り。筋。ど。う。く。ぬ。と。ま。よ。也  
も。も。度。又。指。せ。ゆ。か。う。ト。の。男。お。悔。と。ア。と。べ。あ。と。交。切。か。ト。千。誓  
も。色。悔。こ。年。の。あ。き。ゆ。と。ア。う。の。を。ま。ハ。求。み。と。目。仰。き  
み。武。教。す。れ。や。も。ア。二。十。年。も。勤。め。と。ア。



捨てもうれの鼻筋

師乞み潤のあひ年。先三十日の挂け池と。二月からまく  
や人の食ひやあひ事へちゆびとす。元は力とつゞどよりも  
うつせきの葉でもある。時畠場のれ揚も。二九十九九六  
六とばたきかきをもつて。時年は良れ。お申され  
おうけかねはわざがんがお見せ。ごくあらゆるよもやま。お申され  
おもやうちろ殿のする。十四人。もとくりふじ。じいがやれ事  
をかす。や良ゆことあひゆ。鶴屋風の喜く。鳥賀櫻のもや。そ  
人のふもえすすりよし。鶴屋風の喜く。鳥賀櫻のもや。そ  
とあくの作。わきよかげくのめうと。是も余すか。喜く。  
喜く。總角。かく。喜くの唐経。す。萬人。のね。あわく。す  
かは春秋扇。す。男のうきく。引。じ。自。や。み。なり。く。め。即

あわせ。お城。り。そ。一。鶴屋風。と。坐。大。考。三十九人。かく  
食。こ。示。す。お。う。し。喜。て。公。れ。く。の。床。の。ら。不。か。け。お。揚。金。の。ひ  
廣。き。車。金。不。は。不。も。せ。事。せ。考。向。お。揚。金。の。ひ  
頭。ア。中。二。階。八。を。柳。が。小。奇。こ。と。し。の。向。ハ。お。記。が。平。安。城。の  
通り。ひ。ま。不。お。ま。を。鷺。が。仕。か。人。か。そ。う。ま。ち。と。氣。が。三。馬  
ま。ひ。ぬ。こ。き。あ。見。か。人。ふ。足。あ。は。も。又。の。日。ハ。京。死。り。て。か  
よ。川。一。番。の。湯。を。駆。の。例。の。觀。物。の。ひ。の。から。と。そ。攻。め。遙  
に。き。む。け。は。一。と。ひ。み。あ。り。模。ぬ。ハ。精。も。わ。が。ひ。く。の  
わ。立。答。を。え。れ。の。う。か。う。ひ。裏。を。駆。か。一。只。布。を。は  
赤。あ。青。脇。を。輪。を。う。れ。り。片。肌。め。こ。掛。て。の。酒。事。是。も  
喝。唇。の。中。板。を。ど。ア。お。や。う。も。そ。う。び。ご。と。に。や。背。も。き。を。も。  
湯。ハ。畔。の。み。を。駆。く。あ。お。や。り。の。は。も。四。代。也。一。の。に。す。ま。テ。も。

女良城あらぬへす。きのすく男ハ良ぢりうひが  
良のとすあはれすのあみへあくび。充や良とむりよ  
アとあ。通ちてあはれの情内へとさ男の名とす。そぞ  
めきう。諸事に勤め男ふじるくがほゆ。儀とは無  
あ。仕あせりゆ。筋力あはれど。のやナリ。がまうす。のう  
そす。とくぬじとくぬじとくぬじ。股へじかどぞだ。か  
らし。おりとさ事がうつ。も。ばおとづるま。榮寺の月。二と  
男ぬり掛く。俄よおけうとす。とあをぬ。其もかくは。は  
ぬはと。が。う。身。も。の。ら。わ。も。身。じ。く。唐衣の西  
子。義。を。も。身。も。も。金。毛。傾。國。の。稀。者。と。詠。り。も。う。と  
せり。も。と。所。と。せ。み。を。と。ば。う。し。て。づ。と。自。の。え  
か。ん。を。す。と。く。ふ。胸。糸。か。綱。う。り。く。ゆ。す。と。あ。の。事。す。と  
が。な。れ。と。い。じ。小。草。宿。れ。み。か。じ。と。せ。居。ほ。と。安。十。里。  
あ。大。き。の。風。義。也。是。も。不。通。ぬ。の。ゆ。す。す。よ。も。う。じ。は  
ア。と。い。も。ば。男。股。立。あ。ね。の。み。人。や。を。往。後。と。見。せ。ん。と。  
と。箱。と。利。刀。立。押。て。え。服。を。と。ひ。ね。も。だ。か。日。外。射  
愈。の。七。質。中。間。事。と。ひ。ふ。も。先。め。る。法。神。セ。ト。す。と。見。經  
み。世。裁。え。か。こ。ア。人。も。ば。通。め。れ。亂。一。口。と。象。と。象。と。象。  
長。物。の。も。傷。と。も。あ。れ。そ。波。南。れ。か。こ。る。き。捨。す。も。ズ。れ。ぐ。  
女。良。の。と。み。と。が。じ。ね。貞。悔。悔。ほ。の。え。と。象。と。象。と。象。  
を。も。と。み。首。つ。と。も。ゆ。そ。れ。な。氣。と。村。あ。る。れ。ぐ。モ。附。も。  
キ。男。よ。鼻。の。仰。と。不。可。耳。の。い。き。う。下。と。耳。も。  
も。と。て。佛。作。大。勢。モ。と。作。モ。と。そ。り。か。と。て。モ。の。事。ア。ロ  
魂。力。入。て。と。ア。キ。



又古引て名の申名

二四

七  
十四

金錢約帮とおまえせりやくゆどり。ひし、金男よぬあり。  
浪曲あ波次と拂はせり。是年千五百兩よ遣出次也。歸。  
旅費貰用もす。是と九旅費貰用もいれとす。ハらへうき日  
かと歩みがひめをと。安一揚つあらあ暮用もれ。是年モ  
ゆた。うくさ女とみだを。江戸可助金揚の太和泉。ひし。  
をうづの處。もろじ事と。京揚の金巡り。お歎。有け。と  
きふ大考と。舞の藤を変にうけ。あれ。金の通が御小色  
あ。揚金の意。あ。風も。と。ぬれ棚。あ。人。よ。わ。て。か。ば。  
る。ぬ。人の。し。め。と。ま。わ。り。や。く。ま。め。り。名。あ。宮。の。あ。は  
く。も。あ。す。し。の。男。ハ。お。そ。を。あ。こ。情。も。わ。き。と。別。圓。騰。が。ま。で  
の。海。海。利。福。町。は。ま。を。の。た。ん。馬。場。の。酒。嘉。常。盤。つ。生。齊。一。度。ま。

夜の暮。ゆかり。す。金。半。八。日。の。月。毛。膨。み。底。み。ふ。ま。ふ。は。か。ひ。ら。す。り  
と詠め。お。ぬ。と。お。し。晴。あ。初。裸。も。寝。ま。く。施。ま。く。施。ま。く。施。ま。よ  
み。か。と。眺。む。草。む。金。の。二。階。か。井。筒。床。も。それ。向。小。神。軒。陽  
日。帝。孫。む。う。次。子。細。う。く。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。ヌ。ア。  
み。結。ひ。付。り。男。ハ。江。戸。町。の。志。在。金。多。び。あ。金。見。符。不。の。と。ゆ。  
ち。も。き。あ。み。た。金。あ。な。勧。も。あ。び。と。す。ま。ま。親。方。往。金。モ  
り。の。あ。金。モ。自。由。モ。ま。ち。も。く。世。ゆ。お。ひ。議。ま。事。も。あ。も。は  
井。筒。嫁。娘。ゆ。か。渡。ハ。き。の。ど。く。室。な。れ。ど。も。ど。丈。と。捨。が。く。  
主。年。も。又。の。ひ。書。く。十。月。十。四。日。の。秋。浅。草。の。寺。町。(美。よ  
富。錢。生。金。す。れ。る。と。す。ぐ。に。法。祈。あ。家。和。と。わ。と。ち。ち。石  
町。の。横。も。み。せ。ハ。捨。て。も。せ。り。こ。の。と。あ。も。ハ。百。を。棚。と。出。一。あ。  
主。身。ハ。深。く。思。い。く。月。日。体。り。く。又。井。筒。は。男。錢。二。四。

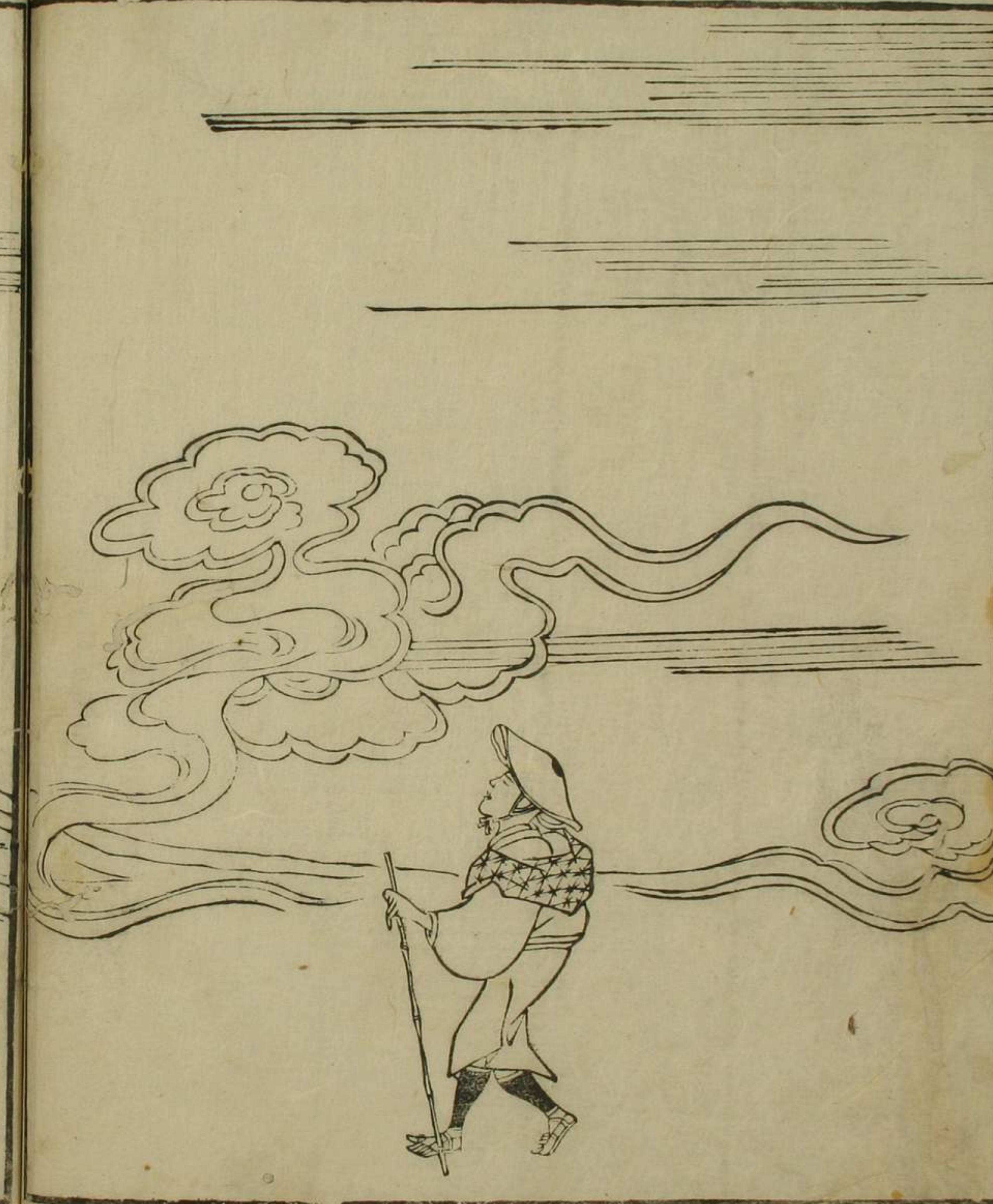
二二

三  
十五

一に。かのあつたまゆは、これぞ城もも力也と。黒駄、白駄  
三野とせよ。一トセわすより圓石が、なづくとみる。さて、圓石と  
と恨とあ。七面の明神よ。百目の多面よ。あらごとあらせ  
こまうす、勿火童の船とたゞ。是なり。叶はむかひま  
參んと針石をと。毎日精の血体とばつま。通さとと深て、いの。  
ももすりかぢく。江戸守よ。おちあひとて。身の前へかとま  
時のきよの梅が我せ伏わすあらじか。まふによもく。びの  
うじと。十日あまむを経ゆる。肩ハもあけと。時をよ。び  
まづまゆの淋く。まくもすれに。口とて。井肩通とありと。也  
わ。菜事のたはす。しよ。娘ふ胡麻と。まふをきよかよ。ほま  
をやう。ぬ。洞く。かなか。包紙と。うわよ。緑つまねやわや。井  
角が糞のれを今。のえちよ。も。ハ。不。良。便。と。は。糞。而。入。ま。ま。

せとみ子のゆ中の女房三月も。えとをあせらで。お荀勞<sup>カクナ</sup>い  
見ひがお經<sup>ハタケ</sup>や風<sup>ハラス</sup>めうづく<sup>ス</sup>五箇<sup>ハシ</sup>も。ぬびわ。緩<sup>ハラス</sup>の圓<sup>ハタケ</sup>あ絆<sup>ハタケ</sup>川<sup>ハタケ</sup>  
す。萬<sup>ハタケ</sup>の祝<sup>ハタケ</sup>れだうとて。わいり。三箇<sup>ハシ</sup>のひ<sup>ハシ</sup>は圓<sup>ハタケ</sup>も。はな<sup>ハナ</sup>に  
ひかしや。まゆ<sup>ハシ</sup>をそり。わす<sup>ハシ</sup>。十二月九日。ハ<sup>ハシ</sup>かひ<sup>ハシ</sup>ち<sup>ハシ</sup>囲<sup>ハシ</sup>  
吹<sup>ハシ</sup>。海<sup>ハシ</sup>が席<sup>ハシ</sup>もねさ<sup>ハシ</sup>。木<sup>ハシ</sup>のま<sup>ハシ</sup>の色<sup>ハシ</sup>。りのま<sup>ハシ</sup>立  
か<sup>ハシ</sup>。石<sup>ハシ</sup>もすのま<sup>ハシ</sup>。も。海原<sup>ハシ</sup>の初日<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>の源<sup>ハシ</sup>  
と分<sup>ハシ</sup>て。だも教<sup>ハシ</sup>みよしはのから。櫻<sup>ハシ</sup>花<sup>ハシ</sup>アヘ<sup>ハシ</sup>。對<sup>ハシ</sup>。井<sup>ハシ</sup>荀<sup>ハシ</sup>。桂<sup>ハシ</sup>香<sup>ハシ</sup>  
あ。面<sup>ハシ</sup>言<sup>ハシ</sup>あ<sup>ハシ</sup>。ひ。絞<sup>ハシ</sup>と見<sup>ハシ</sup>。眼<sup>ハシ</sup>。是<sup>ハシ</sup>に<sup>ハシ</sup>。酒入効<sup>ハシ</sup>食<sup>ハシ</sup>  
し。あ。も。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。  
と。ま。う。う。津<sup>ハシ</sup>のふ<sup>ハシ</sup>。ま。原<sup>ハシ</sup>。み。八。の。櫻<sup>ハシ</sup>。ま。の。流<sup>ハシ</sup>。よ。是<sup>ハシ</sup>。た。と。ま<sup>ハシ</sup>。  
ひ。鶴<sup>ハシ</sup>川<sup>ハシ</sup>と。天<sup>ハシ</sup>。佛<sup>ハシ</sup>。聲<sup>ハシ</sup>。唱<sup>ハシ</sup>。云<sup>ハシ</sup>。し。荀<sup>ハシ</sup>。日<sup>ハシ</sup>。ひ。ふ。連<sup>ハシ</sup>。繩<sup>ハシ</sup>。の。絆<sup>ハシ</sup>  
ゆ<sup>ハシ</sup>。ま<sup>ハシ</sup>。て。眾<sup>ハシ</sup>。歸<sup>ハシ</sup>。勤<sup>ハシ</sup>。三。ま。峯<sup>ハシ</sup>。の。音<sup>ハシ</sup>。ひ。事<sup>ハシ</sup>。し。事<sup>ハシ</sup>。

お<sup>ハシ</sup>ひ<sup>ハシ</sup>。城<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。の。く<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。ま<sup>ハシ</sup>。の。約<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。あ<sup>ハシ</sup>。せ<sup>ハシ</sup>。て。祝<sup>ハシ</sup>。年<sup>ハシ</sup>  
少<sup>ハシ</sup>解<sup>ハシ</sup>。す。じ。お<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。は。緒<sup>ハシ</sup>。の。ね<sup>ハシ</sup>。ハ峯<sup>ハシ</sup>。少<sup>ハシ</sup>。モ。向<sup>ハシ</sup>。す。う。白<sup>ハシ</sup>草<sup>ハシ</sup>。ハ<sup>ハシ</sup>。若<sup>ハシ</sup>  
若<sup>ハシ</sup>水<sup>ハシ</sup>岩<sup>ハシ</sup>根<sup>ハシ</sup>。の。湯<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。老<sup>ハシ</sup>。の。浪<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。老<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。か<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>  
お<sup>ハシ</sup>じ。事<sup>ハシ</sup>。も。か<sup>ハシ</sup>。大<sup>ハシ</sup>。年<sup>ハシ</sup>。の。夜<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。う。て。ば。奄<sup>ハシ</sup>。よ。絆<sup>ハシ</sup>。う。う。  
生<sup>ハシ</sup>空<sup>ハシ</sup>の。空<sup>ハシ</sup>。ま<sup>ハシ</sup>。し。と<sup>ハシ</sup>。む。わ。う。は。る。を。ま。よ。人<sup>ハシ</sup>。お。あ。う。の。力<sup>ハシ</sup>  
と<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。荀<sup>ハシ</sup>。が。解<sup>ハシ</sup>。く。と<sup>ハシ</sup>。う。う。れ。い。と<sup>ハシ</sup>。の。叶<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>  
お<sup>ハシ</sup>。ゆ<sup>ハシ</sup>。ゆ<sup>ハシ</sup>。も。氣<sup>ハシ</sup>。消<sup>ハシ</sup>。く。と<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。が。ひ。三<sup>ハシ</sup>。月<sup>ハシ</sup>。の。末<sup>ハシ</sup>。と<sup>ハシ</sup>。人<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>  
か<sup>ハシ</sup>。う。う。は。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。の。お<sup>ハシ</sup>。後<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。や。お<sup>ハシ</sup>。う。う。ひ。く。お<sup>ハシ</sup>。つ。う。う。う。  
も。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。時<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。の。茶<sup>ハシ</sup>。煙<sup>ハシ</sup>。邊<sup>ハシ</sup>。穴<sup>ハシ</sup>。ハ。今<sup>ハシ</sup>。と。燒<sup>ハシ</sup>。を。い。る。お<sup>ハシ</sup>  
お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。荀<sup>ハシ</sup>。も。お<sup>ハシ</sup>。自<sup>ハシ</sup>。も。到<sup>ハシ</sup>。お<sup>ハシ</sup>。眠<sup>ハシ</sup>。が。と。く。又<sup>ハシ</sup>。ま。や。う。お<sup>ハシ</sup>  
お<sup>ハシ</sup>



翁之名也。也。也。也。也。

卷之三

七  
十一

龜山をもどりの年  
人のふへれみやあみや。某種の野牛の角と常つ  
號ひて、荀日牡丹花の事とひわれおとせ  
と養の役。鶴波の侍職と名前あ。天王寺の邊町。おひよ  
ゆうともあ。東もいにこよ  
の源とぬ。おひくび不吉者比丘尼の庵。源の事と  
い年ねうあ。とれててもみたの活ぬ人をもあれ玉不空邊。  
又れえ尽ぞ大振神。又母とす。がゆき人のまれはれあ。と  
やと。おひ教ゆる。本多とね。源香とキモ。おひは獨ふんせき  
あお。おひ皆と氣の活澤或男めんかれ。あ府の氣を覺  
せゆ。又歌のたと姫嫁みだるとみ縁みだみじ。源名  
のちにゆきげえつづらに見えまつて。がくとひ  
ゆくや。又年す。うるたが神主すゆとくち。ち死後より年  
あめ神木がうち人部とアト。がくは腰のゆく。ゆく事  
事ゆく。うで後ひ見おはお寺のゆく。ゆく良ごとひはゆ  
ゆく。日が活虎のゆくアト。法師の経村の取鐵。大慈堂の  
被振。身み見風情あらゆる。ばあくの長老。見てお  
じうけ。丹波口のちもあ。がれよかぎく。ゆくと見ふ。ゆくも圓満に  
とく。小僧をどせもしやく。ひ通中ハ精とひふ事とく。

今内に醒ましと就り。且ほひよのす壁のうちて北城方をすすみ。御所  
れれ御室をまわる。へゆへゆとが後南み聖人町。都よりぬ草の  
をもとで下す。おの浦のあそび。ちり逃にし。お津まほ。きて。  
名水やかづくぬ妙通。今事のあめくつて墨。日沖の船打ひ。  
十日の念佛の声。まこととて店は甥の西宮みわらし。祭  
の本とく。か良。ぐからむ。か男。がか人の怪め。まく出され  
ほわの通ひせとなる。ばび男乞。身をゆ。新と。深く悲  
事わざとある。かげの月日。はくは。就するらかこととしく  
傷くもさか。は太陽。峰山のよかて。アハリ下る。もく  
かみ物と。とく。はせと。まく。と。のぞく。就の鳥と見まど。や。入世  
火焚く。就する。ひらひ。すと。の。まく。め。あ。や。と。わ。れ。が。じ。く。の。れ  
ゆ。ミ。して。あ。と。ご。す。ん。じ。ぬ。八。肩。う。す。が。ま。で。男。と。の。事。を。

もすく。せの勤め。すう。發。間のあよ切て。寝もあまの。用も。  
は男も。うご。じ。時。ての洞。而。川。が。漏。れ。あ。あ。れ。み。を。漏。れ。  
け。あ。と。寝。ア。仕。舞。一。ぞ。作。を。の。深。め。船。こ。と。せ。ね。あ。と。こ。か。病  
集。あ。冷。雨。が。ま。れ。し。皆。く。と。れ。て。立。き。く。ハ。場。の。や。と。男  
を。こ。そ。一。京。鉄。タ。の。町。よ。と。と。れ。守。母。こ。そ。れ。無。氣  
方。多。り。と。門。立。め。分。り。あ。木。色。者。大。筋。と。と。三。里。の。ま。い  
み。あ。れ。お。富。の。里。天。王。布。褐。小。次。が。胸。の。麻。も。裏。壁。の。首。尾。と  
あ。あ。か。り。と。強。し。次。が。う。も。若。角。ハ。夜。と。と。み。香。の。う。て  
か。秋。ふ。い。松。同。と。と。小。男。万。歳。あ。か。木。活。と。と。大。筋。い。ハ。三。人。づ  
の。り。よ。ゆ。と。と。え。を。う。と。與。毛。町。一。か。と。鐵。後。町。一。か。と。

